

CCI茨城 体験学習振り返る 龍ヶ崎中で倉庫引渡式



完成を祝ってくす玉開披

県魅力ある建設事業推進連絡会議（CCI茨城）は23日、龍ヶ崎市立龍ヶ崎中学校（五十嵐淳校長）で木造倉庫引き渡し式を開催した。倉庫建設を体験した1年生109人が出席。学びを振り返るとともに、倉庫

の完成を祝った。式典の冒頭、県土木部の長山公信技術管理統括監兼検査指導課長が、自身の経験を交え「ものづくりの楽しさを感じ、将来の職業選択に役立てば」とあいさつ。県建設業協会竜ヶ崎支部

の細谷武史支部長は「建設業は暮らしに欠かせないものを作っている。将来一緒に仕事をする仲間となることを期待する」と語った。

さらに、県建設業協会建設未来協議会の櫻井俊一会長が「体験してもらった以外にも建設の仕事は多岐にわたる。協議会が実施している出前授業にも参加してほしい」と呼び掛けた。

長山課長から五十嵐校長への目録伝達と、五十嵐校長から細谷支部長に対する感謝状贈呈に続き、1年生



細谷支部長



長山課長



五十嵐校長



櫻井会長

による活動報告があった。代表生徒が「体験を通じてチームワークの重要性や安全への配慮、最新技術への興味、そしてものづくりの喜びを学んだ」と発表。続いて各学年の代表者が

お礼の言葉を述べ、五十嵐校長が「今まで経験したことのない体験で、学びが深まったと思う。後輩に引き継ぎ、大切にしていきたい」と、感謝の意を表した。

その後、木造倉庫の前に、くす玉開披や記念撮影で完成を祝した。

11月から2回にわたって実施した建設体験学習では、1年生が基礎工事や組立工事を体験した。倉庫は生徒により「双龍館」と命名。同校の校章にちなんだ名前となっている。